

学校だより

プラタナス



令和3年5月25日(火)

市川市立市川小学校

No.7

校長 蜂須賀 久幸

<https://ichikawa-school.ed.jp/ichikawa-sho>

やっぱり6年生は、全校児童のあこがれなのです



22日(土)の朝の雨、雨雲レーダーとにらめっこでした。30分遅らせましたが、児童の意欲と集中力を分断することなく、しかも熱中症の心配がない中で実施できたことをうれしく思います。各学年の保護者受付を手伝ってくださった皆様、終了後の後片付けを行ってくださった方々、本当にありがとうございました。また、保護者1名の参観でしたが、ご理解いただきましたことに改めて感謝申し上げます。

「あれだけのスペースが空いていれば2名でもよかったのでは?」と思われた方もいらっしゃるかもしれません。しかし、子供も大人も1m以上のフィジカルディスタンスが求められる中、安全かつ気持ちよく実施するには丁度よい人数だったと考えます。保護者の参観場所をさらに広げれば可能かもしれません。一方で、児童の相互参観を大事にすることと考えれば、2学年を3学年にして相互に見合う形式にすべきです。そうすると必然的に保護者参観スペースの確保が十分できなくなります。

来年度の状況はわかりません。ワクチン接種が進んだとしても、まずは児童にとってよりよい運動会へと改善していくことが大切です。そうした中、うれしいお手紙を頂戴しましたので紹介します。

“スポーツ参観の日、子供たちは帰宅するや否や、自分たちの話もそこそこに「6年生の演技、すごかった!」と。時間差で帰宅したにもかかわらず兄妹そろって同じように興奮して話していたので、余程感動したのだなあ…と思いました。私も是非6年生の演技を拝見してみたいです。ユーチューブでの公開は難しいでしょうか。ダメ元でリクエストさせていただければ幸いです”



5, 6年生の時間帯は、3年生が自教室から6年生の部屋へ移動して、2階と3階から全校児童で応援しました(写真)。裏面は、各学年の演技の様子です。

アンケート機能付きメールで、参観に関するご意見等をお寄せください。ご協力をお願いします。

雑学; 運動会の始まりは…

日本で最初の運動会は、明治7年(1874)に海軍兵学寮で開催された「競闘遊戯会」とされています。イギリス人教師の指導のもと、150ヤード競走や300ヤード競走、走り幅跳びや高跳び、ボール投げなど18種目で運動能力を競い合ったそうです。種目ごとに賞品も出たそうで、靴やステッキ、ナイフなど、参加者からは好評だったといわれています。※1ヤード=0.9144m

明治11年(1878)に札幌農学校で行われた運動会では、二人三脚や障害物競走、食菓競走など、後々の運動会で代表的な種目になっていったものが早くも登場したのです。

そして、昭和初期には学校ばかりではなく、職場や地域で運動会がひらかれるようになります。社員やその家族が一堂に会して、レクリエーションを楽しみ、みんなの一体感を培う運動会的行事は、当時の日本の職場体質にマッチしていたようです。私自身、父の会社の運動会や自治会対抗の運動会で走った記憶がよみがえります。

《参考・引用》サイト:トコトコ鳥蔵

写真で振り返る「スポーツ参観日」



1年生「みんなで踊ろう！ドラえもん」



2年生「天高くとどけ、紅蓮華の花」



3年生「エイサー
(島人ぬ宝)」



4年生「歩いて帰ろう、
虹に向かって」



5年生「南中ソーラン 2021」



6年生
「絆 ～輝く未来～」

*組体操
*フラッグダンス

★ここに掲載した写真は、HP「児童の様子」にあります